

題 目

ガードラック P r o

仕 様 書

木材保護塗料

< JASS 18 M-307 材料規格品 >

和信化学工業株式会社

木 工 塗 料 事 業 部

平成 年 月 日

ガードラック Pro

木材は元々耐久性があり強いものですが、屋外での曝露による影響は木材の物理的性質だけでなくその美しさも損ないます。屋外において木材は雨と太陽(紫外線)という2つの大きな要因により自然な美しさや強度を失います。この他にも木材を傷める原因として挙げられるものとしてカビやシロアリ、腐朽菌などがあります。これらから木材を守る方法として塗装などの処理が必要となります。この時に使用される塗料に求められる性能として、防水効果・防カビ効果・防虫効果・防腐効果などがあります。

「ガードラックPro」は、刷毛ムラや吸い込みムラを起しにくい優れた作業性を持つ浸透性タイプの塗料です。溶剤系塗料でありながら環境に優しい低臭タイプの塗料になっています。屋外用塗料に求められる性能の防水効果・防カビ効果・防虫効果・防腐効果を全て備えており、加えて紫外線吸収剤による紫外線対策の機能も備えており優れた耐候性を持っています。

16色のカラーバリエーションを揃えておりますのでご希望の仕上がりを選択出来ます。

ガードラックProは、日本建築学会が定める

< 建築工事標準仕様書 JASS18塗装工事 M - 307 木材保護塗料 材料規格 >
に相当する木材保護塗料です。

§ ラインナップ

GP-1ブラック GP-2オレンジ GP-3チーク GP-4マホガニー
GP-5チョコレート GP-6グリーン GP-7オリーブ
GP-8メイプル GP-9オーク GP-10ブラウン GP-11グレー
GP-12ホワイト GP-13白木色
GP-14 レッド GP-15エロー GP-16ブルー

レジューサー (屋外での単独使用不可)

容量: 4L 16L

耐候性は色顔料の遮蔽効果に影響しますのでレジューサー単独での屋外の使用は避けて下さい。また、レジューサーとの混合使用の際もレジューサーの量が多いほど耐候性が劣ります。

§ 特 長

刷毛ムラや吸い込みムラが起きにくく、作業性に優れており、導管・木肌ともきれいに着色できます。

顔料タイプの木材保護着色塗料で耐候性に優れています。

防腐・防虫・防カビ・撥水効果で木材を保護します。

防虫効果は主に白蟻等に対してであり、すべての虫に対しての効果ではありませんのでご注意ください。

§ 用 途

住宅外部の木質部材全般
ウッドデッキ・門扉・公園遊具 等

ガードラックProだけで仕上げることはもちろんのこと、
その上にワシンエコ外部用クリヤーを塗装することもできます。

§ 使用 方法

1. 使用前によく攪拌して、中身を均一にして下さい。
2. 基本的には原液でお使い頂けます。色を薄くしたい場合にはレジューサーで希釈して下さい。ただし、色が薄くなるに従い耐候性が劣る傾向がありますのでご注意ください。
3. 塗装には刷毛またはローラー刷毛を使用して下さい。標準塗装回数は2回です。
4. 木材内部までよく浸透させる為、刷毛にたっぷりつけて塗装して下さい。
5. 使用後の刷毛・容器類は溶剤で洗って下さい。
6. 塗料の付着した布切れ、塗料カス、塗膜の研磨粉などを積み重ねて放置しておきますと、自然発火することがありますので、その都度焼却するか廃棄するまで水につけておいて下さい。

§ 塗料性状

| | | |
|-------|--------------------|-------------|
| 外 観 | 各色液体 | 目 視 |
| 粘 度 | 11±1 秒 | 4フォードカップ/25 |
| 密 度 | 0.84 ~ 0.89 ± 0.02 | 25 |
| 不揮発分 | 20.3 ~ 27.5% | 計算値 |
| 保管安定性 | 異 状 な し | 50 1ヶ月保管 |

§ 乾燥性目安

塗 布 量 80 ~ 100 g/m² 気温/湿度 = 20 / 60%

杉単材 乾 燥 8時間以上

条件によって乾燥状況は変わりますので参考として下さい

§ 塗膜性能

| 項 目 | 結 果 | 条 件 |
|---------|--------|---|
| 耐 酸 性 | | 5%酢酸水 スポットテスト 24H |
| 耐アルカリ性 | 素地黒変 | 5%炭酸ナトリウム水 スポットテスト 24H |
| 耐 水 性 | | 水道水 スポットテスト 24H |
| 耐アルコール性 | | 60%エタノール水 スポットテスト 24H |
| 耐 溶 剤 性 | - - | 塗料用うすめ液 スポットテスト 24H キシレン スポットテスト 24H |
| 耐マジック性 | 黒色 赤色 | 24H 後ベンジン拭き取り |
| 耐クレヨン性 | 黒色 赤色 | 24H 後ベンジン拭き取り |
| 耐 インキ 性 | 黒色 赤色 | スポットテスト 24H |

カバ合板に2回塗り10日後テスト

§ 防カビ効力

JIS 及び日本木材保存協会規格を参考にした社内防カビ試験
28 / 95%にて1ヶ月 (実験室 シャーレの中での培養テスト)
2 回塗り
リゾースニグリカンス
アスペルギルスニガー
ペニシリウムシトリヌム
オーレオバシディウムプルランス
トリコデルマ

上記5種のカビにおいて防カビ効力が認められる

§ 耐候性テスト

杉材に 2 回塗り キセノンWOMテスト 500 時間 良好

§ 塗装工程

(屋外フェンス新規塗装例)

| 工 程 | 使用塗料 | 乾燥時間 | 塗布量 | 備 考 |
|-------|--------------|--------|--------------------------|------|
| 素地調整 | P150 サンドペーパー | | | |
| 1 回 目 | 原 液 | 8 時間以上 | 80 ~ 100g/m ² | 刷毛塗装 |
| 2 回 目 | 原 液 | 8 時間以上 | 80 ~ 100g/m ² | 刷毛塗装 |

塗布量は素材の吸い込み具合により大きく変わります。

又、乾燥時間は塗装状況により変わりますので目安として下さい。

(屋外壁リフォーム塗装例)

| 工 程 | 使 用 塗 料 | 乾 燥 時 間 | 塗 布 量 | 備 考 |
|-------|--------------------------|---------|--------------------------|------|
| 素地調整 | 高圧洗浄 P150 サンドペーパー-研磨 漂白等 | | | |
| 1 回 目 | 原 液 | 8 時間以上 | 80 ~ 100g/m ² | 刷毛塗装 |
| 2 回 目 | 原 液 | 8 時間以上 | 80 ~ 100g/m ² | 刷毛塗装 |

塗布量は素材の吸い込み具合等により大きく変わります。特に傷みのひどい木材の場合はよく染み込み、塗布量が多くなることが予測されます。

又、乾燥時間は塗装状況により変わりますので目安として下さい。

素材の状態によって、洗浄・研磨・漂白などをして下さい。

傷んでスカスカした状態の木材は、削ってから塗装することをお奨めします。

(木地着色クリヤー上塗り仕上げ)

| 工 程 | 使 用 塗 料 | 乾 燥 時 間 | 塗 布 量 | 備 考 |
|-------|--------------|---------|--------------------------|------|
| 素地調整 | P150 サンドペーパー | | | |
| 1 回 目 | 原 液 | 8 時間以上 | 80 ~ 100g/m ² | 刷毛塗装 |
| 2 回 目 | 原 液 | 8 時間以上 | 80 ~ 100g/m ² | 刷毛塗装 |
| 3 回 目 | ワシンエコ外部用クリヤー | 8 時間以上 | 80 ~ 100g/m ² | 刷毛塗装 |

塗布量は素材の吸い込み具合により大きく変わります。

又、乾燥時間は塗装状況により変わりますので目安として下さい。

ワシンエコ外部用クリヤーは必要に応じて専用エコうすめ液で希釈して下さい。

詳細はワシンエコ外部用クリヤーの仕様書をご参照下さい。

§ 使用上の注意

1. 塗料の付着した布切れ, 塗料カス, 塗膜の研磨粉などを積み重ねて放置しておきますと、自然発火することがありますので、その都度焼却するか廃棄するまで水につけておいて下さい。
2. 火気のあるところでは使用しないで下さい。
3. 塗装中、乾燥中とも換気を十分行い、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
4. 取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具等を着用して下さい。
5. 容器からこぼれた場合には、布で拭き取って水をはった容器に保管して下さい。
6. 取り扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
7. 作業衣等に付着した場合は、その汚れをよく落として下さい。
8. 皮膚等に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診察を受けて下さい。
9. 目に入った場合には多量の水で洗い、直ちに医師の診察を受けて下さい。
10. 蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
11. 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
12. 火災時には、炭酸ガス, 泡または粉末消火器を用いて下さい。
13. よくフタをし、直射日光を避けたところに保管して下さい。
14. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
15. 中身を使いきってから廃棄して下さい。
16. 本来の用途以外には使用しないで下さい。

更に詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。